

付録（単元構造図）

本付録では、民間と連携した水泳授業を実施する際の単元計画例を、単元構造図を用いて示しています。本文では、アンケート、インタビュー、授業視察の結果から、水泳授業における教育的価値、教員の関わり方、学習評価の在り方などについて整理し、今後の民間と連携した水泳授業への示唆を提言しました。本付録は、それらの成果を踏まえ、学校として水泳授業をどのように設計・運営するか、学校として何を整える必要があるかを具体的に示すことを目的としています。

なお、本付録に示す単元計画例(単元構造図)は、各自治体や各学校の実態に応じて柔軟に再構成されることを前提としています。児童生徒の実態、施設条件、教員体制、連携形態に応じて調整しながら、学校体育としての水泳授業の質保証を図るための参考資料として活用されることを期待します。

単元計画例(単元構造図)の見方

【1】「単元を貫く問い」や「単元テーマ」について

この単元で教師が児童生徒に何を身に付けさせたいのか、どのような姿を目指すのか等を示しています。

【2】単元目標について

学習指導要領の項目に合わせて(知識及び技能)、(思考力、判断力、表現力等)、(学びに向かう力・人間性等)で示しています。

【3】評価規準について

単元目標の実現状況を把握するための規準(おおむね満足できる状況)を設定しています。

【4】学習の流れについて

単元計画の実現を目指して、実際の授業で誰が(教師・インストラクター)、何を教えるのか(指導内容)、どのような活動を行うのかを明確にし、縦と横の時系列(分・単位時間)で配列しています。なお、ここにはプールまでの移動時間は含んでいません。また、時数において()で示しているのはプールでの活動時間とします。そのため、実際には適宜休憩を入れるようにして下さい。

【5】評価機会について

評価を実施する主体は教員です。評価規準の内容に沿って形成的な評価を行うために、いつ(何時間目)、何について(観点別)評価を行うか明確にします。

※学習の流れに記載している「イ」はインストラクター、「教」は教員のことです。技術指導を担う指導者を示している。例えば、「イ1」はインストラクターが1名で「イ1・教1」はインストラクター1名と教員1名の2名でグループを指導するということです。

評価規準	知識	①クロールもしくは背泳ぎの技術の名称や運動局面の名称があり、それぞれの技術や局面で、動きを高めるための技術的なポイントがあることについて書き出している。(名称・行い方)		
	技能	①クロールでは、一定のリズムで強いキックを打ち、水中で肘を曲げて腕全体で水をキャッチし、S字やI字を描くようにして水をかくことができる。 ②背泳ぎでは、水平に浮いてキックし、水中で肘を曲げて書くことができる。		
	思・判・表	①提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。(課題発見)		
	態度	①水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意している。(健康・安全) ②水泳に積極的に取り組もうとしている。(愛好的態度)		
4・5 (プール)		6・7 (プール)		8 (教室)
1 健康観察及びバディの確認・準備運動：様々な部位の伸張、回旋等 2 グループ別で水慣れ (25m泳・プールサイドキック・水中じゃんけん等)				リフレクション 1 個人で振り返り ○できるようになったこと ○新しく気づいたこと ○自分で工夫したこと ○これからさらに頑張りたいこと 2 グループで共有 ○成果や工夫を共有 3 まとめ ○教師からの価値づけ ○次の単元に向けて
3 泳力別グループ別に分かれた学習 【Aグループ】：基礎コース 「イ2」 プールサイドからキックの練習 → け伸びの確認 → ビート板を使ってキックの練習 → ビート板を使ってストロークの練習 【Bグループ】：安定コース 「イ1・教1」 け伸びの練習 → 面かぶりクロール → ビート板を使って片手クロール 【Cグループ】：発展コース 「イ1」 W-UPで自由に25mを4本泳ぐ → キャッチを意識する練習 → ローリングと呼吸を合わせる練習		3 泳力別グループ別に分かれた学習 【Aグループ】：基礎コース 「イ2」 プールサイドからキックの練習 → ビート板を使ってストロークの練習 → 壁から泳ぐ 【Bグループ】：安定コース 「イ1・教1」 ビート板を使って泳ぐ → 壁から12.5以上m泳ぐ 【Cグループ】：発展コース 「イ1」 自己の課題を意識して25mを泳ぐ		
4 記録会に向けた練習 各グループ別に25mを泳ぐ ※自己の課題を意識して泳ぐように促す		4 記録会 各グループ別に25mを泳ぐ ※教師が水中での姿勢、キックやストロークを見て評価する。		
4 整理運動 ○様々な部位の伸張、回旋等 5 振り返り ○学習シートに振り返りを記入(入力)する。				
				①
		①②		
①				①
				②